

NEW PRODUCTS

空航監視レーダ装置 JCAB-ASR-61形 精測進入レーダ装置 JCAB-PAR-61形

運輸省航空局から受注した JCAB-ASR-61 形空港監視レーダ装置と JCAB-PAR-61 形精測進入レーダ装置が二組完成した。これら2種の装置各1台ずつを一組として用いるもので、東京国際空港と大阪国際空港に設置される。ASRレーダは空港周辺の航空機の管制誘導を行ない、PARレーダは滑走路に航空機を安全に着陸誘導または離陸させるために用いるものである。

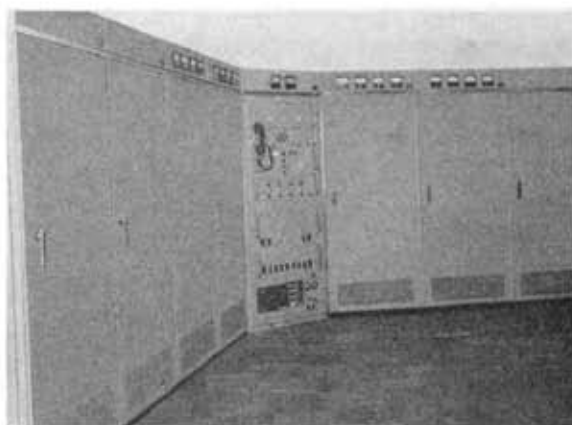
これらの装置は航空機の安全確保に用いるものであるから、特に信頼性を強調して設計され、完全な二重チャンネルとなっており、同時に現用、予備の切換ができ、信頼度は非常に向上している。また常時機器の性能が最良にあることを確認できるようにレーダの主要諸元の監視装置を装備している。

ASRの特徴としては、受信機に低雑音TWTを装備して雑音指数の改善をはかるとともに、映像積分器による S/N 改善を併用して、最大探知距離の増大をはかっている。また二重消去 MTI 方式を採用して MTI の性能は一段と向上し地上反射の多い地域においても良好に航空機を探知できる。またビデオマッピング装置により空港周辺の地図を電子的に作り指示器上に映像として表示することができる。

PAR の特徴としては東京国際空港の場合高低、方位アンテナを各二組ずつ装備し、アンテナを切り換えることにより迅速かつ正確に滑走路の選択ができるようになっている。各装置の主要性能は下記のとおりである。

ASR

ピーク送信出力	600 kW	送信周波数	2,800 Mc
くり返し周波数	1,200 pps	パルス幅	0.8 μs



Transmitter and receiver of the PAR

受信機雑音指数	6 dB 以下
MTI総合消去度	30 dB 以上
指示器	16形 PPI
PAR	
ピーク送信出力	30 kW
送信周波数	9,100 Mc
くり返し周波数	1,833 pps
パルス幅	0.18 μs
受信機雑音指数	9 dB 以下
指示器	16形 EPI

東芝ファミリーステレオ電蓄 FS-190形, FS-170形

FS-190形、FS-170形はステレオ電蓄の主力機種として製品化したもので、数々のすぐれた特長をもった Hi-Fi 電蓄である。特長として・残響方式（聞く人の好みによって残響状態を変えられる）・SEC方式（音の広がりを自由に变化できる）・ラウドネスコントロール（音量を絞ったときに低高音の不足を

補う）・マジックステレオバランス（目で左右の音の強さのバランスをとる…(FS-190だけ)）・ダイナミックバランスアーム（モダンな感じのパイプを用いレコード、針が長持ちする）・シリコメタルダンパカートリッジ（ダンピング効果のすぐれたダンパ材を使用している）などがある。



Toshiba Family Stereo electric gramophone, Model FS-190



Toshiba Family Stereo electric gramophone, Model FS-170

仕様概略

	FS-190形	FS-170形
方式	9球2音 ステロ 2チャンネル	7球4音 ステロ 2チャンネル
出力	最大 4.5 W×2	最大 2.5 W×2
スピーカ	20 cm P. D. S×2 8 cm P. D. S×2	デュアルコーンスピーカ 20 cm P. D. S×2
外形寸法	1,010 × 370 × 535 + 300 (W) (D) (H) (脚部)	900 × 350 × 450 + 325 (W) (D) (H) (脚部)
その他	出力端子付 感度切換付 ST-LP ダイナ計 レコードコーナ付 セットカバー付	出力端子付 感度切換付 レコードコーナ付 セットカバー付